

認知症について



今回の概要

1 2月6日木曜日に以下の内容で施設利用者対象に講演を行いました。

1.認知症について

脳血管内科

高田潤一

2.認知症とリハビリ

作業療法士

西尾佳子

有家直子

武藤千恵

認知症とは？

まずは、病気を知ることから始めましょう。

もの忘れ → 年のせい ⇔ 認知症 → 病気

<老化現象>

- ・神経細胞の減少や機能低下が原因

<認知症>

- ・通常の老化によるものより早く機能低下する脳の病気

<認知症の定義>

- ・記憶や判断力などの障害が起こり、普通の社会生活がおくれなくなった

<認知症の原因>

- ・脳梗塞など脳血管性の疾患、慢性硬膜下血腫などの外傷性疾患、アルツハイマー病などの退行変性疾患、甲状腺機能低下症などの内分泌疾患、脳炎髄膜炎などの感染性疾患、脳腫瘍などの腫瘍性疾患などがあります。

<認知症の予防>

- ・生活習慣病などの動脈硬化危険因子のコントロールが大事

認知症かなと思ったら受診を。大切なのは、家族からの情報です。

適したリハビリとは？

リハビリをすることで予防・改善ができます。

- ・学習療法…簡単な計算・音読などを行うことで、脳の活性化を図ります
- ・運動療法…体を動かし全身の筋力をきたえることで転倒や骨折を予防
- ・心理療法…見当識を高め周囲に関心を促すための療法
- ・集団療法や音楽療法…豊かな感情を引き出し社交性を促進し活気を取り戻します
- ・園芸療法…収穫をすることで、達成感を促す

認知症とのお付き合い <原則…認知症の方の自尊心を尊重すること>

妄想…一緒に行動を起こしたり、関心をそらすこと

昼夜逆転…軽い運動を行い、日中の生活を活動的にする

食べたことを忘れる…「御飯の支度中なので、もう少しお待ちください」と伝える

徘徊…一緒に散歩などに出かけて満足感を得る

失禁…トイレの標示をつけたり、時間をみてトイレに誘導する

認知症の方の気持ちや世界を理解して、支え合っていきましょう

もの忘れと認知症の違い

	もの忘れ	認知症
経過	短期間では著変なし	進むことが多い
症状	体験の一部を忘れる	体験の全部を忘れる
自覚	あり	なし
見当識障害	なし	あり
人格	維持される	低下・荒廃していく